

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県 池田町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
1	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T ・ F I P 適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和21年3月20日 宮地発電所	令和21年3月20日 宮地発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
中部電力パワージョイント(株)大垣営業所	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	R01	R02	R03	R04	R05
水力発電	185	263	211	251	251
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	185	263	211	251	251

	F I T ・ F I P 以外	F I T ・ F I P	合計
年間電灯電力料収入（千円）	-	8,521	8,521

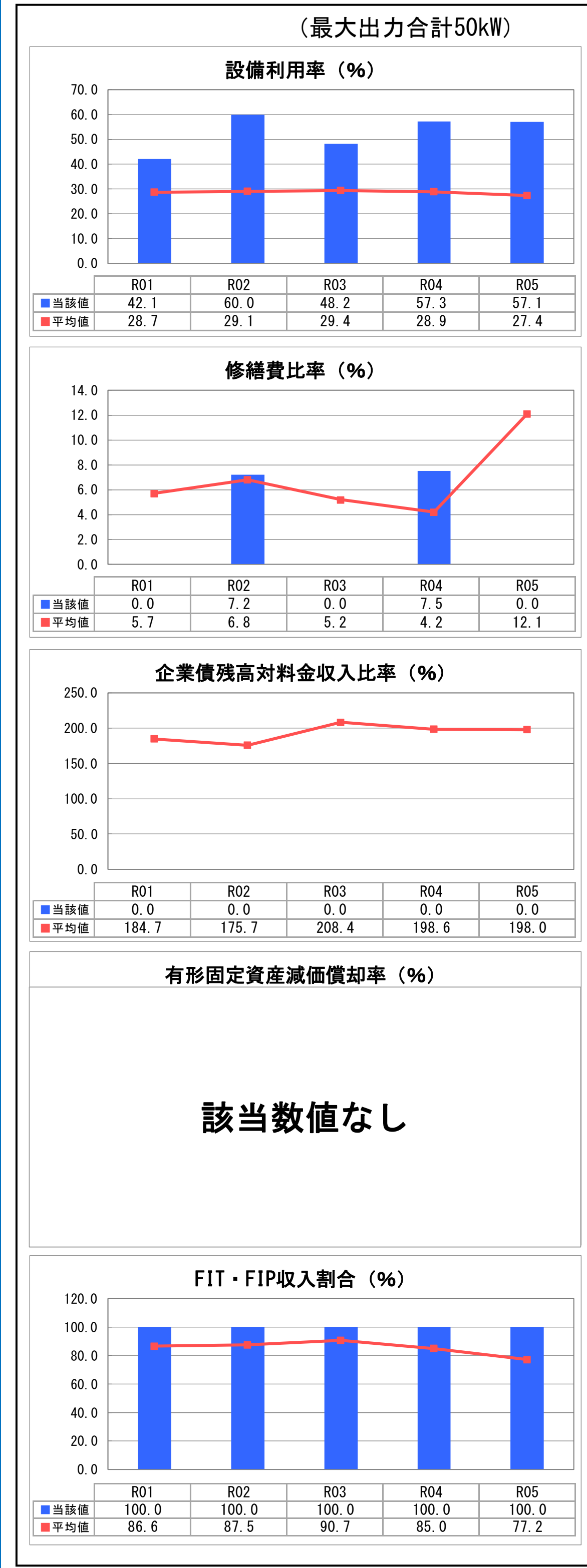
剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）
基金への積立の有無…有 目的：次年度以降の機器等の修繕費及び更新費 6,616千円 一般会計への繰出しの有無…無 その他の有無…有 他会計への繰出 目的：土地改良施設の維持管理費 710千円

1. 経営の状況

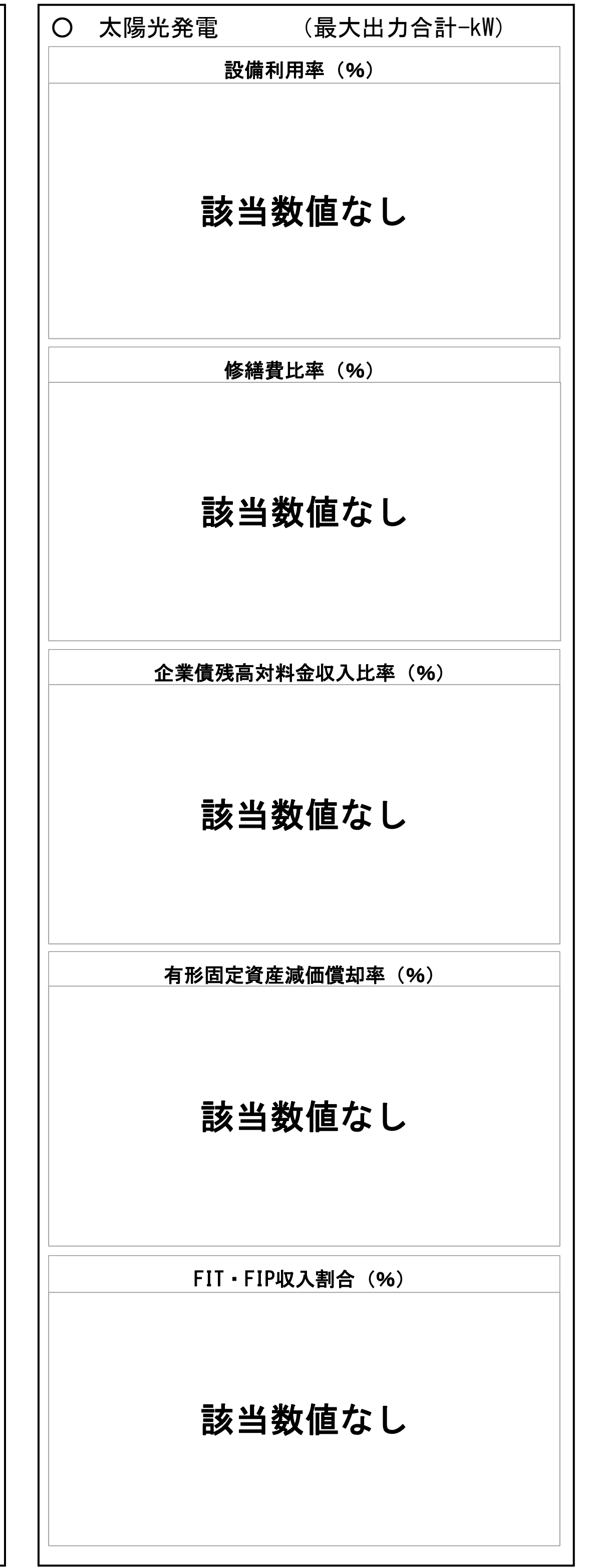
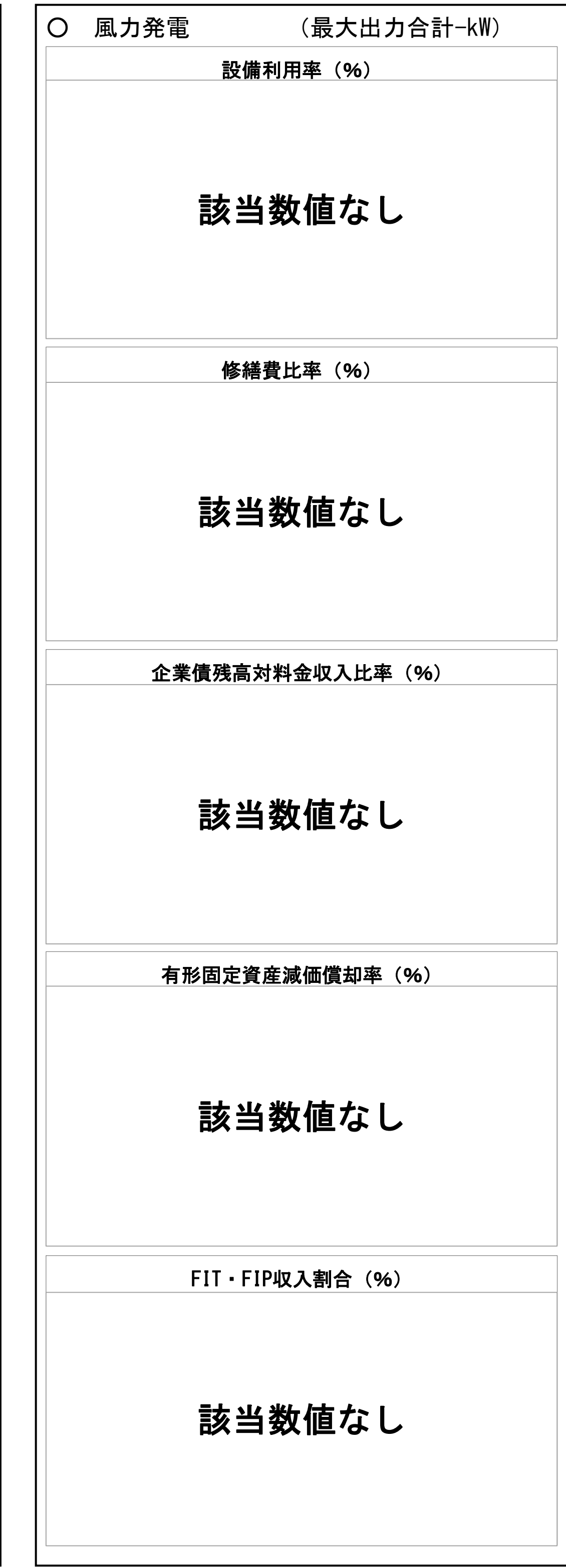
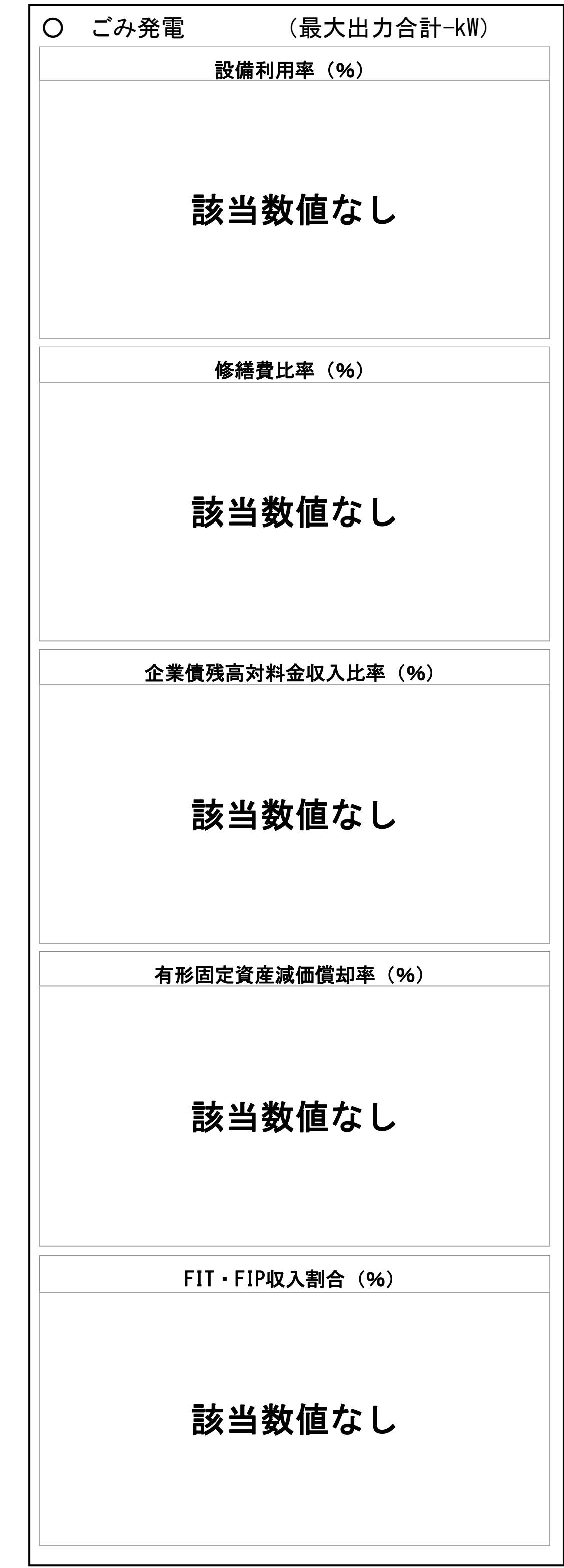
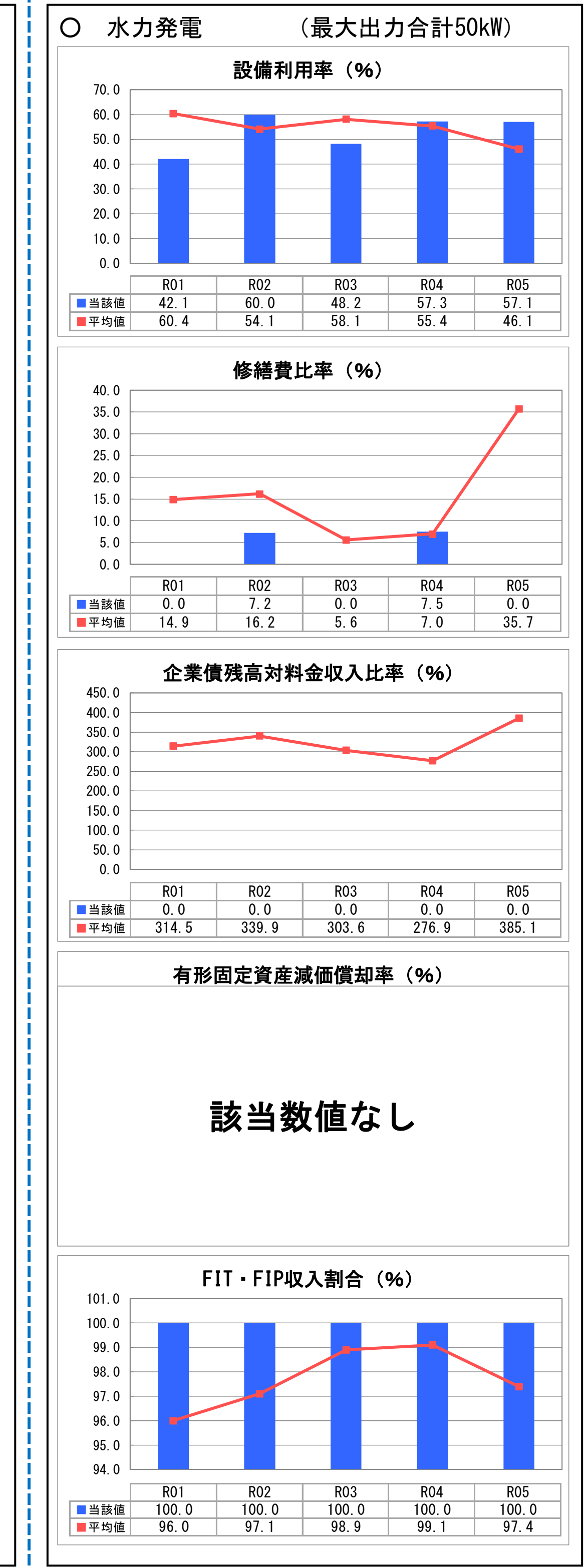


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



分析欄

1. 経営の状況について 収益的収支比率及び営業収支比率はともに平均値と目標値を大きく上回っている。総収入によって総費用を賄えているため、経営の健全性が保たれているといえる。販売電力量1MWh当たりにかかる費用をあらわす供給原価は昨年より減少しているが、これは収益的収支比率及び営業収支比率が昨年より向上したことが要因であると考えられる。
2. 経営のリスクについて 設備利用率は57.1%で、前年度より0.2%減少している。昨年と比較し発電電力量がわずかに減少しているが、これは降雨量の減少が要因であると考えられる。今後はよりいっそう施設の維持管理を徹底し、より高い発電量を確保するようつとめる。本発電所は谷水から導水する農業用水を発電用水として用いるため、大規模な渇水が生じない限り計画的な発電が見込める。しかし恒常的に水がとれない状態が発生した場合、発電のみならず農業用水を用いる受益地にも影響が生じるため、予防的な維持管理が求められる。
全体総括 経営状況は収益的収支率を100%維持し、計画的な基金積立をしており別会計への繰出も行っているため、健全性が保たれているといえる。今後も維持管理の徹底につとめ、発電量の向上をはかる。発電所稼働が始まってから数年が経過しており今後大規模な修繕が発生する可能性は増加すると考えられる。今後の設備更新において各設備の耐用年数や固定価格買取制度の契約期間終了後の買取価格の下落に伴う収入の減少も視野に入れた更新を行う必要がある。

※ 令和1年度から令和5年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和5年度の団体数を基に平均値を算出しています。